

～メッセージ～  
みなみの風にのせて



特別支援教育とは・・・

障害のある子どもたちが自立し、社会参加するために必要な力を培うため、子ども一人一人の教育的ニーズを把握し、その可能性を最大限に伸ばし、生活や学習上の困難を改善または克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものです。

特別支援学校のみならず、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校の通常の学級に在籍する発達障害のある子どもを含めて、障害により特別な支援を必要とする子どもたちが在籍する全ての学校において実施されるものです。

障害のある子どもたちへの教育にとどまらず、多様な個人が能力を発揮しつつ、自立して共に社会に参加し、支えあう「共生社会」の形成の基礎となるものであり、我が国の現在及び将来の社会にとって重要な意味を持っています。

平成19年4月に施行された改正学校教育法により、全ての学校において特別支援教育を推進することが法律上も明確に規定されました。

～文部科学省発行 パンフレット「特別支援教育」より抜粋～



いきなり堅苦しい内容で始まりましたが、皆実小学校の特別支援教育について少しずつ保護者の皆様にお知らせしていきたいと思えます。



入学式の式辞の中で、清水校長より新入生にプレゼントがありました。

歌のプレゼントです。教職員の代表数名も、お祝いの気持ちを込めステージの前に立って共に歌いました。

「1年生になったら」の3番を、手話を交えて歌う教職員の姿から、ピカピカの1年生だけではなく、在校生を代表して参列したピカピカの6年生も、きっと何かを感じ取ってくれたのではないかと思います。

入学式後、各教室で、1年生担任より児童及び保護者へ、配慮を要する児童の紹介がありました。合わせてご紹介いたします。

1年生のお友だちの中には、1年生の教室とたんぼぼ学級の両方でお勉強するお友だちがいます。耳が聞こえにくいお友だちもいます。目が見えにくい人が、めがねをかけているように、耳が聞こえにくい人は、補聴器をつけてお勉強します。だから補聴器はとても大事なものです。補聴器はめがねと違ってとても使い方が難しく、練習をしなければいけないので、みんな応援してあげてね。

保護者の皆様に加えてご説明いたします。子どもたちは1年生になったばかりです。「〇〇ちゃん、教室にいないときがあるよ。」とか「今日、知らん先生が来た。」などのことをおうちで言うかもしれません。そういうときには、お子さんの話をよく聞いてあげて、温かいことばを返してあげてください。

まだ、「〇〇ちゃん、どうしてたんぼぼ学級で勉強するの?」と、お母さんたちに聞くことがあるかもしれません。そのときには「どうしてだと思う?」と、お子さんの考えをまず聞いてあげてください。その上で「人によって勉強のやり方が違うからね。」「時間をかけてゆっくり勉強するよ。」「得意なことも苦手なこともがんばってるよ。」というように答えていただければと思います。子どもたちは、日々直接付き合う中で、お互いをよく理解して、困っているときには声をかけたり、助け合ったりできる友だちになってくれるといいなあと思っています。そして、お互いを大切にする思いやりの心が育ってほしいなと思っています。

たんぼぼ学級やことばときこえの教室の子どもたちと一緒に学習する機会があると、子どもたちは「いろいろな人がいるな。」と実感し人間関係の幅が広がります。学習したり遊んだりしているうちに、自然につき合い方がわかる子どももいれば、「どうやって遊んだらいいんだろう。」と考える子どももいます。これらのことは、世の中のいろいろな人と付き合おうとする気持ちの基になるのです。身近な大人である私たちが、子どもたちをつなぎながら、お互いへの思いやりの気持ちを育てていきたいと思っています。ご家庭での子どもさんへの温かいことばかけが、子どもの気持ちを育てます。

ご家庭でのやりとりの中で、「子どもに聞かれたけど、答え方がわからなかった。」とか「どうコメントしていいかわからなかった。」「こういうところがよくわからないんだけど。」というような場合には、お気軽にご相談ください。

保護者の皆様のご支援とご協力をよろしく願いいたします。



※ お子様のことで気になることがございましたら学校にご相談ください。

- 担任      ○ 特別支援教育コーディネーター      ○ 不登校対応教員
- スクールカウンセラー など (スクールカウンセラーについては、別途お知らせいたします。)